



平成24年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月10日
上場取引所 東

上場会社名 萩原工業株式会社

コード番号 7856 URL <http://www.hagihara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 萩原 邦章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員事業支援部門長 (氏名) 浅野 和志

定時株主総会開催予定日 平成25年1月24日

配当支払開始予定日

TEL 086-440-0860

有価証券報告書提出予定日 平成25年1月25日

平成25年1月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期の連結業績(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|---------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年10月期 | 20,805 | △2.1 | 2,207 | 12.4 | 2,267 | 11.1 | 1,308 | 5.8 |
| 23年10月期 | 21,247 | 14.2 | 1,962 | 10.9 | 2,040 | 15.0 | 1,236 | 17.3 |

(注) 包括利益 24年10月期 1,323百万円 (13.9%) 23年10月期 1,161百万円 (18.2%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益 | 自己資本当期純利益 率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|---------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 24年10月期 | 198.43 | — | 11.0 | 12.0 | 10.6 |
| 23年10月期 | 187.50 | — | 11.4 | 11.3 | 9.2 |

(参考) 持分法投資損益 24年10月期 一百万円 23年10月期 一百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年10月期 | 19,517 | 12,399 | 63.5 | 1,880.35 |
| 23年10月期 | 18,395 | 11,339 | 61.6 | 1,719.66 |

(参考) 自己資本 24年10月期 12,398百万円 23年10月期 11,339百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|---------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 24年10月期 | 2,416 | △1,382 | △474 | 1,801 |
| 23年10月期 | 1,178 | △934 | △747 | 1,238 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 23年10月期 | — | 15.00 | — | 20.00 | 35.00 | 230 | 18.7 | 2.0 |
| 24年10月期 | — | 20.00 | — | 25.00 | 45.00 | 296 | 22.7 | 2.4 |
| 25年10月期(予想) | — | 20.00 | — | 20.00 | 40.00 | | 19.5 | |

※平成24年10月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 創立50周年記念配当 5円00銭

3. 平成25年10月期の連結業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期 純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 10,600 | 4.9 | 1,100 | △3.5 | 1,100 | △5.6 | 645 | △7.9 | 97.82 |
| 通期 | 21,800 | 4.8 | 2,300 | 4.2 | 2,300 | 1.4 | 1,350 | 3.2 | 204.74 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|---------|-------------|---------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年10月期 | 6,598,800 株 | 23年10月期 | 6,598,800 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年10月期 | 5,015 株 | 23年10月期 | 5,015 株 |
| ③ 期中平均株式数 | 24年10月期 | 6,593,785 株 | 23年10月期 | 6,593,794 株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 平成24年10月期の個別業績(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|---------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年10月期 | 19,231 | △2.7 | 1,904 | 8.3 | 2,068 | 8.1 | 1,211 | 3.5 |
| 23年10月期 | 19,757 | 16.0 | 1,757 | 13.7 | 1,914 | 18.4 | 1,170 | 22.7 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|---------|------------|-------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年10月期 | 183.72 | — |
| 23年10月期 | 177.53 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|---------|--------|---|--------|------|--------|----------|----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 円 銭 | | |
| 24年10月期 | 17,957 | | 12,628 | 70.3 | | 1,915.18 | | |
| 23年10月期 | 17,389 | | 11,679 | 67.2 | | 1,771.27 | | |

(参考) 自己資本 24年10月期 12,628百万円 23年10月期 11,679百万円

2. 平成25年10月期の個別業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 9,810 | 5.1 | 1,000 | △1.3 | 585 | △2.1 | 88.72 |
| 通期 | 20,210 | 5.1 | 2,140 | 3.5 | 1,270 | 4.8 | 192.61 |

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信添付資料P. 2「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績・財政状態に関する分析 | 2 |
| (1) 経営成績に関する分析 | 2 |
| (2) 財政状態に関する分析 | 3 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| (4) 事業等のリスク | 5 |
| 2. 企業集団の状況 | 6 |
| 3. 経営方針 | 7 |
| (1) 会社の経営の基本方針 | 7 |
| (2) 目標とする経営指標 | 7 |
| (3) 中長期的な会社の経営戦略 | 7 |
| (4) 会社の対処すべき課題 | 7 |
| (5) その他、会社の経営上重要な事項 | 7 |
| 4. 連結財務諸表 | 8 |
| (1) 連結貸借対照表 | 8 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 10 |
| 連結損益計算書 | 10 |
| 連結包括利益計算書 | 11 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 12 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 14 |
| (5) 継続企業の前提に関する注記 | 15 |
| (6) 追加情報 | 15 |
| (7) 連結財務諸表に関する注記事項 | 15 |
| (セグメント情報等) | 15 |
| (1株当たり情報) | 19 |
| (重要な後発事象) | 19 |
| 5. 個別財務諸表 | 20 |
| (1) 貸借対照表 | 20 |
| (2) 損益計算書 | 23 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 26 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 28 |
| 6. その他 | 29 |
| (1) 役員の異動 | 29 |
| (2) その他 | 29 |

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

① 業績全般の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、景気は持ち直し傾向にあるものの、個人消費の伸び悩み、厳しい雇用情勢が続くなか、海外では欧州債務問題の長期化、中国の景気拡大の減速など、対外経済環境を巡る不確実性も高く、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「原点回帰 先ず感謝、そして新たな決意を！」を社長方針に掲げ、第50期という節目を迎える年であり、新しい半世紀へ雄飛する年にすべく、平成27年10月期を最終年度とする新中期経営計画（MI53）を策定し、事業基盤の整備、収益構造の強化を重点指針として各種施策に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高208億5百万円（前期比2.1%減）、営業利益22億7百万円（同12.4%増）、経常利益22億67百万円（同11.1%増）となり、当期純利益は13億8百万円（同5.8%増）となりました。

〔合成樹脂加工製品事業〕

合成樹脂加工製品事業におきましては、東日本大震災復興・除染関連商材を含めた拡大戦略製品を中心に、また、海外ではコンクリート補強繊維の拡販を積極的に進める一方で、子会社を含めた最適地生産体制の構築及び原材料の海外調達を拡大を図りました。

インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては第二工場も順調に稼働を開始し、中国の子会社「青島萩原工業有限公司」ともに業績は概ね順調に推移いたしました。

その結果、売上高は163億21百万円と前期に比べ7百万円（0.0%）の減収となり、営業利益は15億36百万円と前期に比べ6百万円（0.4%）の増益となりました。

〔機械製品事業〕

機械製品事業におきましては、これまで好調であった液晶テレビの販売不振の影響を受け、光学系フィルム用スリッターは低調な動きとなりましたが、バッテリー（電池）やスマートフォンに関連した業界向け機能性材料用スリッターが堅調に推移しました。また、一次スリッター（大型）を受注開発するなど新規分野の開拓も行いました。押出関連機器では、台湾企業との業務提携により機能と価格を追求した再生機を上市するなど積極的な展開を図ってまいりました。

その結果、売上高は44億83百万円と前期に比べ4億35百万円（8.8%）の減収となり、営業利益は6億70百万円と前期に比べ2億37百万円（54.8%）の増益となりました。

② 次期の見通し

次期の見通しにつきましては、海外経済の状況が改善するにつれ、再び景気回復へ向かうことが期待されるものの不確実性は高く、金融資本市場の変動等により景気が下振れするリスクがあるうえに、デフレの影響及び雇用情勢の悪化懸念が依然として残っており、先行きが不透明な経営環境が続くことが予想されます。

セグメント別には以下の施策を実施する予定です。

〔合成樹脂加工製品事業〕

合成樹脂加工製品事業は、「マーケティングイノベーション」、「技術・生産イノベーション」、「調達イノベーション」を展開し、世界市場を視野とした拡大成長戦略を推進していきます。

〔機械製品事業〕

機械製品事業は、「既存分野における受注の拡大」、「成長分野での事業の確立」、「技術開発力の強化」及び「コストパフォーマンスの追求」を重点施策として推進していきます。

平成25年10月期の連結会計年度の業績予想につきましては、連結売上高218億円（前年同期比4.8%増）、連結経常利益23億円（同1.4%増）、連結当期純利益13億50百万円（同3.2%増）を見込んでおります。また、セグメント別の売上高については、次のとおりと予想しております。

| | 合成樹脂加工製品 | | 機械製品 | | 合計 | |
|-----|----------|--------|---------|--------|---------|--------|
| | 金額（百万円） | 構成比（%） | 金額（百万円） | 構成比（%） | 金額（百万円） | 構成比（%） |
| 売上高 | 16,760 | 76.9 | 5,040 | 23.1 | 21,800 | 100.0 |

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(2) 財政状態に関する分析

① 財政状態の分析

・流動資産

当連結会計年度末における流動資産の残高は、112億9百万円（前連結会計年度末104億69百万円）となり、7億39百万円増加しました。これは現金及び預金が増加したこと等によります。

・固定資産

当連結会計年度末における固定資産の残高は、83億8百万円（前連結会計年度末79億26百万円）となり、3億82百万円増加しました。これは減価償却の実施7億97百万円により減少した一方、有形固定資産の取得12億23百万円等によります。

・流動負債

当連結会計年度末における流動負債の残高は、59億46百万円（前連結会計年度末57億77百万円）となり、1億69百万円増加しました。これは短期借入金が増加したこと等によります。

・固定負債

当連結会計年度末における固定負債の残高は、11億71百万円（前連結会計年度末12億78百万円）となり、1億6百万円減少しました。これは長期借入金が増加したこと等によります。

・純資産

当連結会計年度末における純資産の残高は、123億99百万円（前連結会計年度末113億39百万円）となり、10億59百万円増加しました。これは利益剰余金が10億44百万円増加したこと等によります。

② 経営成績の分析

・売上高

当連結会計年度における売上高は、208億5百万円（前連結会計年度212億47百万円）となり、4億42百万円減少いたしました。これは合成樹脂加工製品事業では、東日本大震災復興・除染関連商材等の拡大戦略製品及び海外でのコンクリート補強繊維の拡販を進めた結果、微減収となりました。機械製品事業では、バッテリー（電池）やスマートフォンに関連した業界向け機能性材料用スリッターが堅調に推移しましたが、これまで好調であった液晶テレビの販売不振の影響を受け、光学系フィルム用スリッターは低調な動きとなり、減収となりました。

・売上総利益

当連結会計年度における売上総利益は、58億79百万円（前連結会計年度56億74百万円）となり、2億5百万円増加いたしました。これは、世界的な原油価格の高騰により、当社製品主原料である合成樹脂原料（ポリプロピレン・ポリエチレン）の値上げが数回にわたり行われ、この値上げに対して、製品販売価格への価格転嫁及び生産コスト削減等の諸施策の実施を行った結果によるものです。

・販売費及び一般管理費

当連結会計年度における販売費及び一般管理費は、36億72百万円（前連結会計年度37億11百万円）となり、39百万円減少いたしました。これは売上減少により運賃及び荷造費が減少したこと等によります。

・営業外損益

当連結会計年度における営業外損益は、60百万円の利益（前連結会計年度77百万円の利益）となり、17百万円の減益となりました。これは受取保険金が減少し、為替差損が増加したこと等によります。

・特別損益

当連結会計年度における特別損益は、32百万円の損失（前連結会計年度22百万円の損失）となり、9百万円損失が増加いたしました。これは遊休地に係る減損損失を計上したこと等によります。

・税金等調整前当期純利益

当連結会計年度における税金等調整前当期純利益は、22億34百万円（前連結会計年度20億17百万円）となり、2億16百万円増加いたしました。

・法人税等

当連結会計年度における税金費用は、9億26百万円（前連結会計年度7億81百万円）となり、1億44百万円増加いたしました。これは税金等調整前当期純利益の増加と法人税等の税率の変更による繰延税金資産の金額の修正等によります。

・当期純利益

当連結会計年度における当期純利益は、13億8百万円（前連結会計年度12億36百万円）となり、72百万円増加いたしました。この結果、1株当たり当期純利益は198円43銭（前連結会計年度187円50銭）となり、10円93銭増加いたしました。

③ キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5億62百万円増加し、18億1百万円となりました。

当連結会計年度における活動ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益22億34百万円と減価償却費7億97百万円を主とする資金の増加とたな卸資産の増加額53百万円及び仕入債務の減少額49百万円を主とする資金の減少により、24億16百万円（前連結会計年度比12億38百万円の収入増加）の資金の増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の新增設、更新及び合理化投資の充実による有形固定資産の取得11億29百万円等により、13億82百万円（前連結会計年度比4億47百万円の支出増加）の資金の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額2億14百万円及び長期借入金により2億74百万円の収入がありましたが、長期借入金の返済による支出6億99百万円等により、4億74百万円（前連結会計年度比2億73百万円の支出減少）の資金の減少となりました。

（キャッシュ・フロー指標のトレンド）

| | 平成20年 10月期 | 平成21年 10月期 | 平成22年 10月期 | 平成23年 10月期 | 平成24年 10月期 |
|------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 自己資本比率 (%) | 44.3 | 51.3 | 58.1 | 61.6 | 63.5 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 22.0 | 26.6 | 30.1 | 42.1 | 41.7 |
| 債務償還年数 (年) | 4.5 | 1.6 | 1.5 | 1.7 | 0.7 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ | 11.3 | 35.2 | 34.5 | 35.6 | 103.0 |

（注） 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※2. 株式時価総額は、期末直近株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しています。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の支払利息の支払額を使用しております。

(3) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益分配に関する基本的な考え方は、収益状況に対応した上で、株主還元の実現を図り、業績の推移及び財務状況を総合的に勘案して利益還元を行う方針であります。

また、一方では企業体質の強化及び業容の拡大に備えて内部留保を充実することも目標としております。この内部留保につきましては、業界内部における競争激化に対処し、コスト競争力を高めるための設備投資等の資金需要に備えるためであり、将来的には収益の向上を通じて株主の皆様へ還元できるものと考えております。当社は、株主の皆様への利益還元の機会を充実させるべく、中間配当及び期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会であります。

当期末配当につきましては、1株につき25円00銭（普通配当20円00銭、創立50周年記念配当5円00銭）の配当とさせていただきます、通期では45円00銭を予定しております。また、次期の配当につきましては、1株につき40円00銭（中間配当20円00銭、期末配当20円00銭）を予定しております。

(4) 事業等のリスク

当社の合成樹脂加工製品事業部門、ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社及び青島萩原工業有限公司は主にポリエチレン・ポリプロピレン樹脂を原材料として使用しております。これら原材料の価格は、原油・ナフサといった国際商品市況の影響を受けるもので、原材料価格の変動は避けられない状況にあります。今後、原材料価格の変動が業績に影響を及ぼす可能性があります。

① 原材料の市況変動の影響について

当社の合成樹脂加工製品事業部門、ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社及び青島萩原工業有限公司は主にポリエチレン・ポリプロピレン樹脂を原材料として使用しております。これら原材料の価格は、原油・ナフサといった国際商品市況の影響を受けるもので、原材料価格の変動は避けられない状況にあります。今後、原材料価格の変動が業績に影響を及ぼす可能性があります。

② 為替変動の影響について

当社グループの事業、業績及び財務状況は為替相場の変動によって影響を受けます。海外子会社における売上、費用、資産を含む現地通貨建の項目は、連結財務諸表の作成のために円換算されております。換算時の為替レートにより、これらの項目は現地通貨における価値が変わらなかったとしても、円換算後の価値に影響を受ける可能性があります。また、為替動向は外貨建で取引されている仕入価格及び販売価格にも影響を与える可能性があり、急激な為替変動があった場合には業績に影響を及ぼす可能性があります。

③ 法的規制による影響について

当社グループは法令の遵守を基本として事業を進めておりますが、製造物責任や環境、リサイクル関連、独占禁止、特許、税制、輸出入関連などにおいて、国内、海外を問わず様々な法的規制を受けており、今後さらにその規制が強化することも考えられます。そのような場合、事業活動に対する制約の拡大やコストの増加も予想され、当社グループの事業活動に影響を及ぼす可能性があります。

④ 製造物責任による影響について

当社グループは日本国内及び事業展開する各国において認められている品質管理基準に従って製品を製造しておりますが、将来にわたって全ての製品に欠陥がなく、製造物賠償責任請求及びリコール等に伴う費用が発生しないという保証はありません。当社グループは製造物賠償責任保険に加入しておりますが、賠償額を全て賄えるという保証はなく、製品の欠陥が当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

⑤ 退職給付債務の影響について

当社グループの退職給付費用及び債務は、割引率等数値計算上で設定される前提条件や年金資産の期待運用収益率に基づいて設定されております。実際の結果が前提条件と異なる場合、または前提条件が変更された場合には業績に影響を及ぼす可能性があります。

⑥ 自然災害等の影響について

当社グループは、暴風、地震、落雷、洪水、火災、感染症の世界的流行（パンデミック）等の各種災害に対して損害の発生及び発生時の損害の拡大を最小限におさえるべく、点検・訓練の実施、連絡体制の整備、損害保険の付保等リスク管理に努めていますが、このような災害等による物的・人的被害が当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社及び子会社5社で構成され、合成樹脂加工製品関連の原糸、クロス及びラミクロス等の製造・販売及び機械製品関連の製造・販売を主な内容として事業活動を展開しております。

当社グループの事業に係わる位置づけ及びセグメントとの関連は次のとおりであります。

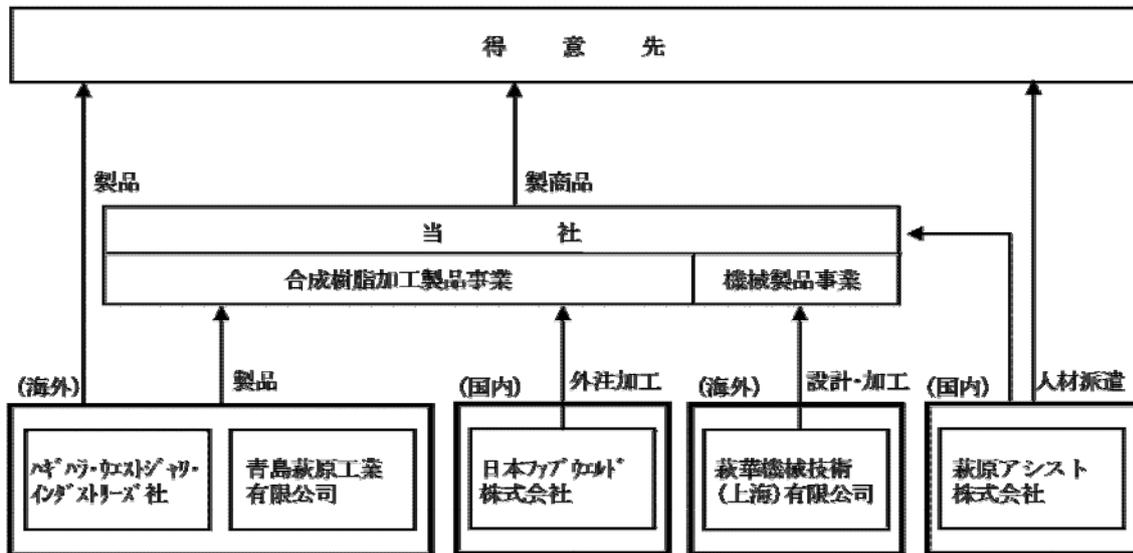
(1) 合成樹脂加工製品事業

当社及びハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社にて合成樹脂加工製品関連の原糸、クロス、ラミクロスこれらの二次製品の各種製造・販売、青島萩原工業有限公司ではラミクロス製品の製造・販売を行っております。また、日本ファブウエルド株式会社ではラミクロスの二次加工を行っております。萩原アシスト株式会社は人材派遣業を生業とし、継続雇用制度の運用を図ることを目的の一部として行っております。

(2) 機械製品事業

当社にてスリット&ワインダー機械他各種自動機器製品の製造・販売を行っております。また、萩華機械技術(上海)有限公司ではスリット&ワインダー機械他各種自動機器製品の設計・製造を行っております。

事業の系統図は、次のとおりであります。



連結子会社

ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社、青島萩原工業有限公司、日本ファブウエルド株式会社、萩華機械技術(上海)有限公司、萩原アシスト株式会社

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「長年培ったフラットヤーン技術を大事にしながら、常に変革し続け、世のため人のために役立つ会社であろう」を経営理念として掲げ、顧客の便益性に応え最高の品質とサービスを提供し、提案型マーケティングと圧倒的なコスト競争力を持ち、独創的な製品を開発することを基本方針といたしております。

平成25年10月期におきましては、「新たな創業を牽引する新製品開発を全社員参加で遂行す」をスローガンに掲げ、中期経営計画（MI 5 3）の達成に向けて、「Marketing」・「Management」・「Innovation」においてそれぞれ具体的施策を遂行してまいります。そして、質実ともに優良企業への成長を目指して、株主・取引先の皆様並びに従業員との共存共栄を図り社会への一層の貢献を行うことを経営指針として活動してまいります。

(2) 目標とする経営指標

当社グループは、平成27年10月期を最終年度とする新中期経営計画（MI 5 3）を策定しております。具体的な計画及び施策は次のとおりです。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、平成23年12月8日に平成27年10月期を最終年度とする中期経営計画（MI 5 3）を発表いたしました。具体的な計画及び施策は次のとおりです。

■方針

新たな創業へ、奮起せよパイオニア精神

■具体的施策

Marketing

- ①高機能・高収益製品開発の強化
- ②戦略製品の海外市場拡大
- ③顧客視点重視で販売力と開発思考力の強化

Management

- ①成長事業領域への選択と集中
- ②連結最適生産体制の整備と強化
- ③グローバル調達の調査と拡大

Innovation

- ①生産システム改革による非連続コストダウンの追求
- ②先端技術と素材活用で業際事業領域への進攻
- ③国際化対応人材育成と高効率組織力強化

■数値目標

【連結】

(単位：百万円)

| | 平成25年10月期 | 平成26年10月期 | 平成27年10月期 |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高 | 21,800 | 22,300 | 23,000 |
| 営業利益 | 2,300 | 2,400 | 2,500 |

(4) 会社の対処すべき課題

当社グループは、激しさを増す市場競争のなかで、新中期経営計画（MI 5 3）の実行により、フラットヤーン関連事業で確固たる地位を築くことに努めます。

そのためには、コスト競争力、新製品・高機能化製品の開発、海外市場開発のそれぞれ強化を図るとともに、連結最適生産体制の再整備、人材育成、そして徹底した安全と品質向上を通じて、当社を取り巻く様々なリスクに対して揺るぎない経営体質の構築にグループ一丸となって取り組んでまいります。

(5) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位: 千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年10月31日) | 当連結会計年度 (平成24年10月31日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,439,469 | 2,108,301 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,312,624 | 5,103,775 |
| 商品及び製品 | 936,208 | 975,973 |
| 仕掛品 | 1,575,917 | 1,617,003 |
| 原材料及び貯蔵品 | 577,223 | 559,269 |
| 繰延税金資産 | 325,403 | 310,960 |
| その他 | 314,085 | 539,740 |
| 貸倒引当金 | △11,200 | △5,957 |
| 流動資産合計 | 10,469,731 | 11,209,068 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 7,166,178 | 7,654,074 |
| 減価償却累計額 | △5,200,673 | △5,387,924 |
| 建物及び構築物(純額) | 1,965,504 | 2,266,150 |
| 機械装置及び運搬具 | 8,884,944 | 9,018,570 |
| 減価償却累計額 | △7,387,251 | △7,475,040 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,497,693 | 1,543,529 |
| 工具、器具及び備品 | 739,667 | 719,187 |
| 減価償却累計額 | △595,517 | △626,200 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 144,150 | 92,987 |
| 土地 | 2,304,479 | 2,271,892 |
| 建設仮勘定 | 134,675 | 250,901 |
| 有形固定資産合計 | 6,046,502 | 6,425,462 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 22,351 | 7,450 |
| その他 | 188,054 | 159,008 |
| 無形固定資産合計 | 210,405 | 166,459 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 59,447 | 62,193 |
| 繰延税金資産 | 139,360 | 193,182 |
| 保険積立金 | 1,098,550 | 1,194,405 |
| その他 | 394,181 | 275,477 |
| 貸倒引当金 | △22,442 | △8,512 |
| 投資その他の資産合計 | 1,669,096 | 1,716,747 |
| 固定資産合計 | 7,926,004 | 8,308,668 |
| 資産合計 | 18,395,735 | 19,517,737 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年10月31日) | 当連結会計年度 (平成24年10月31日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,286,466 | 2,264,330 |
| 短期借入金 | 1,278,208 | 1,312,231 |
| 未払金 | 976,622 | 1,005,255 |
| 未払法人税等 | 499,941 | 513,572 |
| 賞与引当金 | 440,941 | 467,592 |
| 製品保証引当金 | 38,300 | 41,118 |
| その他 | 257,127 | 342,734 |
| 流動負債合計 | 5,777,606 | 5,946,834 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 709,060 | 473,404 |
| 繰延税金負債 | 19,889 | 10,454 |
| 退職給付引当金 | 264,985 | 350,365 |
| 役員退職慰労引当金 | 229,443 | 283,286 |
| その他 | 55,160 | 54,160 |
| 固定負債合計 | 1,278,538 | 1,171,671 |
| 負債合計 | 7,056,145 | 7,118,506 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,274,858 | 1,274,858 |
| 資本剰余金 | 889,658 | 889,658 |
| 利益剰余金 | 9,513,610 | 10,558,293 |
| 自己株式 | △2,752 | △2,752 |
| 株主資本合計 | 11,675,375 | 12,720,058 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,142 | 3,014 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1,546 | 946 |
| 為替換算調整勘定 | △338,999 | △325,386 |
| その他の包括利益累計額合計 | △336,310 | △321,426 |
| 少数株主持分 | 526 | 598 |
| 純資産合計 | 11,339,590 | 12,399,230 |
| 負債純資産合計 | 18,395,735 | 19,517,737 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 21,247,670 | 20,805,344 |
| 売上原価 | 15,573,405 | 14,925,993 |
| 売上総利益 | 5,674,265 | 5,879,350 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運賃及び荷造費 | 538,654 | 526,979 |
| 貸倒引当金繰入額 | 1,782 | △12,393 |
| 給料及び賞与 | 797,247 | 815,572 |
| 賞与引当金繰入額 | 134,796 | 145,705 |
| 退職給付費用 | 64,649 | 75,788 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 22,650 | 65,022 |
| 研究開発費 | 378,576 | 397,417 |
| その他 | 1,773,079 | 1,658,163 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 3,711,435 | 3,672,255 |
| 営業利益 | 1,962,830 | 2,207,094 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,494 | 7,897 |
| 受取配当金 | 1,561 | 1,639 |
| 作業くず売却益 | 4,118 | 6,783 |
| 受取保険金 | 125,238 | 104,643 |
| その他 | 29,936 | 43,595 |
| 営業外収益合計 | 163,349 | 164,558 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 31,816 | 24,747 |
| 為替差損 | 5,132 | 29,409 |
| 売上割引 | 32,078 | 31,651 |
| その他 | 16,588 | 18,549 |
| 営業外費用合計 | 85,616 | 104,357 |
| 経常利益 | 2,040,563 | 2,267,295 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 995 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 4,605 | — |
| 特別利益合計 | 5,601 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 11,059 | — |
| 投資有価証券売却損 | 1,003 | — |
| 投資有価証券評価損 | 3,495 | — |
| 減損損失 | — | 32,586 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 12,750 | — |
| 特別損失合計 | 28,307 | 32,586 |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,017,856 | 2,234,708 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 854,189 | 975,051 |
| 法人税等調整額 | △72,714 | △48,844 |
| 法人税等合計 | 781,474 | 926,207 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 1,236,381 | 1,308,501 |
| 少数株主利益 | 21 | 66 |
| 当期純利益 | 1,236,360 | 1,308,434 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日) |
|----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 1,236,381 | 1,308,501 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,741 | 1,871 |
| 繰延ヘッジ損益 | 5,359 | △600 |
| 為替換算調整勘定 | △83,906 | 13,618 |
| その他の包括利益合計 | △74,806 | 14,889 |
| 包括利益 | 1,161,575 | 1,323,391 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 1,161,449 | 1,323,318 |
| 少数株主に係る包括利益 | 125 | 72 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日) |
|---------------------|--|--|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 当期首残高 | 1,274,858 | 1,274,858 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 1,274,858 | 1,274,858 |
| 資本剰余金 | | |
| 当期首残高 | 889,658 | 889,658 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 889,658 | 889,658 |
| 利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 8,475,064 | 9,513,610 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △197,814 | △263,751 |
| 当期純利益 | 1,236,360 | 1,308,434 |
| 当期変動額合計 | 1,038,546 | 1,044,683 |
| 当期末残高 | 9,513,610 | 10,558,293 |
| 自己株式 | | |
| 当期首残高 | △2,722 | △2,752 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | △29 | — |
| 当期変動額合計 | △29 | — |
| 当期末残高 | △2,752 | △2,752 |
| 株主資本合計 | | |
| 当期首残高 | 10,636,858 | 11,675,375 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △197,814 | △263,751 |
| 当期純利益 | 1,236,360 | 1,308,434 |
| 自己株式の取得 | △29 | — |
| 当期変動額合計 | 1,038,516 | 1,044,683 |
| 当期末残高 | 11,675,375 | 12,720,058 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 当期首残高 | △2,598 | 1,142 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 3,741 | 1,871 |
| 当期変動額合計 | 3,741 | 1,871 |
| 当期末残高 | 1,142 | 3,014 |
| 繰延ヘッジ損益 | | |
| 当期首残高 | △3,812 | 1,546 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 5,359 | △600 |
| 当期変動額合計 | 5,359 | △600 |
| 当期末残高 | 1,546 | 946 |

(単位: 千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日) |
|----------------------|--|--|
| 為替換算調整勘定 | | |
| 当期首残高 | △254,988 | △338,999 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | △84,011 | 13,613 |
| 当期変動額合計 | △84,011 | 13,613 |
| 当期末残高 | △338,999 | △325,386 |
| その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | △261,399 | △336,310 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | △74,911 | 14,884 |
| 当期変動額合計 | △74,911 | 14,884 |
| 当期末残高 | △336,310 | △321,426 |
| 少数株主持分 | | |
| 当期首残高 | 400 | 526 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | 125 | 72 |
| 当期変動額合計 | 125 | 72 |
| 当期末残高 | 526 | 598 |
| 純資産合計 | | |
| 当期首残高 | 10,375,859 | 11,339,590 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △197,814 | △263,751 |
| 当期純利益 | 1,236,360 | 1,308,434 |
| 自己株式の取得 | △29 | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | △74,785 | 14,956 |
| 当期変動額合計 | 963,731 | 1,059,639 |
| 当期末残高 | 11,339,590 | 12,399,230 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,017,856 | 2,234,708 |
| 減価償却費 | 795,420 | 797,494 |
| 減損損失 | — | 32,586 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 12,750 | — |
| のれん償却額 | 17,318 | 14,900 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △2,823 | △19,173 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 77,725 | 129,572 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △7,349 | 53,842 |
| 受取利息及び受取配当金 | △4,056 | △9,536 |
| 支払利息 | 31,816 | 24,747 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 10,064 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △761,639 | 224,911 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △148,243 | △53,086 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △27,796 | △49,777 |
| その他 | 30,098 | 11,382 |
| 小計 | 2,041,141 | 3,392,572 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,055 | 9,527 |
| 利息の支払額 | △33,115 | △23,462 |
| 法人税等の支払額 | △834,015 | △962,475 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,178,066 | 2,416,161 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額 (△は増加) | △28,650 | △105,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △601,199 | △1,129,609 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 5,348 | 4,256 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △6,353 | — |
| 長期貸付金の回収による収入 | 6,175 | — |
| 保険積立金の増減額 (△は増加) | △57,088 | △95,855 |
| その他 | △252,940 | △56,110 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △934,707 | △1,382,319 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減額 (△は減少) | 229,879 | 214,799 |
| 長期借入れによる収入 | 122,565 | 274,750 |
| 長期借入金の返済による支出 | △902,229 | △699,868 |
| 自己株式の取得による支出 | △29 | — |
| 配当金の支払額 | △197,432 | △263,759 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △747,248 | △474,078 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △6,945 | 3,119 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △510,835 | 562,882 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,749,054 | 1,238,219 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,238,219 | 1,801,101 |

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(7) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業内容別に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業内容を基礎とした「合成樹脂加工製品事業」及び「機械製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「合成樹脂加工製品事業」は、原糸、クロス、ラミクロスこれらの二次製品の各種製造・販売を行っております。

「機械製品事業」は、スリット&ワインダー機械他各種自動機器製品の製造・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 連結財務諸表計上額(注) |
|-----------------------|------------|-----------|------------|-----------|--------------|
| | 合成樹脂加工製品事業 | 機械製品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 16,329,055 | 4,918,615 | 21,247,670 | — | 21,247,670 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 30,950 | 30,950 | △30,950 | — |
| 計 | 16,329,055 | 4,949,565 | 21,278,621 | △30,950 | 21,247,670 |
| セグメント利益 | 1,529,598 | 433,231 | 1,962,830 | — | 1,962,830 |
| セグメント資産 | 13,949,024 | 3,195,472 | 17,144,496 | 1,251,238 | 18,395,735 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 727,325 | 68,095 | 795,420 | — | 795,420 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 754,613 | 69,212 | 823,826 | — | 823,826 |

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント資産の調整額1,251,238千円は全社資産であり、その主なものは、連結財務諸表提出会社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3. その他の項目は、連結財務諸表計上額と一致しております。

当連結会計年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日)

(単位: 千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 連結財務諸表 計上額 (注) |
|-----------------------|----------------|-----------|------------|-----------|-------------------|
| | 合成樹脂加工 製品事業 | 機械製品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 16,321,755 | 4,483,588 | 20,805,344 | — | 20,805,344 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 80,982 | 80,982 | △80,982 | — |
| 計 | 16,321,755 | 4,564,570 | 20,886,326 | △80,982 | 20,805,344 |
| セグメント利益 | 1,536,237 | 670,856 | 2,207,094 | — | 2,207,094 |
| セグメント資産 | 14,373,379 | 3,218,789 | 17,592,168 | 1,925,568 | 19,517,737 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 727,726 | 69,768 | 797,494 | — | 797,494 |
| 減損損失 | 32,586 | — | 32,586 | — | 32,586 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 1,155,960 | 80,403 | 1,236,363 | — | 1,236,363 |

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント資産の調整額1,925,568千円は全社資産であり、その主なものは、連結財務諸表提出会社の余資運用資金 (現金及び預金)、長期投資資金 (投資有価証券) 等であります。

3. その他の項目は、連結財務諸表計上額と一致しております。

b. 関連情報

前連結会計年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

| 日本 | アジア | その他 | 合計 |
|------------|-----------|---------|------------|
| 17,269,711 | 3,334,846 | 643,113 | 21,247,670 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

| 日本 | アジア | 合計 |
|-----------|-----------|-----------|
| 4,842,072 | 1,204,430 | 6,046,502 |

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の外部顧客への売上高がないため記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

| 日本 | アジア | その他 | 合計 |
|------------|-----------|-----------|------------|
| 17,092,720 | 2,182,372 | 1,530,251 | 20,805,344 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

| 日本 | アジア | 合計 |
|-----------|-----------|-----------|
| 4,698,808 | 1,726,653 | 6,425,462 |

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の外部顧客への売上高がないため記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

当連結会計年度（自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度（自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| 項目 | 前連結会計年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日) |
|-------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,719円66銭 | 1,880円35銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 187円50銭 | 198円43銭 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | 潜在株式が存在しないため記載しておりません。 |

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (平成23年10月31日) | 当連結会計年度 (平成24年10月31日) |
|------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 11,339,590 | 12,399,230 |
| 純資産の部の合計額から 控除する金額(千円) | 526 | 598 |
| (うち少数株主持分) | (526) | (598) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(千円) | 11,339,064 | 12,398,631 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株) | 6,593,785 | 6,593,785 |

(注) 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益(千円) | 1,236,360 | 1,308,434 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 1,236,360 | 1,308,434 |
| 期中平均株式数(株) | 6,593,794 | 6,593,785 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表
(1) 貸借対照表

(単位: 千円)

| | 前事業年度 (平成23年10月31日) | 当事業年度 (平成24年10月31日) |
|---------------|------------------------|------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,190,325 | 1,866,819 |
| 受取手形 | 1,794,851 | 1,735,456 |
| 売掛金 | 3,371,334 | 3,221,345 |
| 商品及び製品 | 847,919 | 877,246 |
| 仕掛品 | 1,410,160 | 1,445,069 |
| 原材料及び貯蔵品 | 217,617 | 212,973 |
| 前渡金 | 24,172 | 23,442 |
| 前払費用 | 70,024 | 61,144 |
| 繰延税金資産 | 301,746 | 281,455 |
| 未収入金 | 17,857 | 86,244 |
| その他 | 140,113 | 112,187 |
| 貸倒引当金 | △10,879 | △5,649 |
| 流動資産合計 | 9,375,244 | 9,917,735 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 5,440,468 | 5,610,004 |
| 減価償却累計額 | △4,159,935 | △4,258,555 |
| 建物(純額) | 1,280,533 | 1,351,448 |
| 構築物 | 392,462 | 392,462 |
| 減価償却累計額 | △258,896 | △277,992 |
| 構築物(純額) | 133,566 | 114,469 |
| 機械及び装置 | 6,634,923 | 6,525,693 |
| 減価償却累計額 | △5,849,556 | △5,813,120 |
| 機械及び装置(純額) | 785,366 | 712,573 |
| 車両運搬具 | 120,004 | 126,810 |
| 減価償却累計額 | △108,185 | △109,126 |
| 車両運搬具(純額) | 11,819 | 17,683 |
| 工具、器具及び備品 | 654,981 | 638,646 |
| 減価償却累計額 | △526,117 | △557,593 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 128,864 | 81,052 |
| 土地 | 2,252,356 | 2,239,274 |
| 建設仮勘定 | 98,462 | 57,821 |
| 有形固定資産合計 | 4,690,969 | 4,574,324 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 180,927 | 148,437 |
| 電話加入権 | 3,034 | 3,034 |
| その他 | 682 | 598 |
| 無形固定資産合計 | 184,644 | 152,069 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成23年10月31日) | 当事業年度 (平成24年10月31日) |
|---------------|------------------------|------------------------|
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 59,447 | 62,193 |
| 関係会社株式 | 866,751 | 866,751 |
| 出資金 | 380 | 380 |
| 関係会社出資金 | 835,000 | 835,000 |
| 関係会社長期貸付金 | 81,637 | 155,337 |
| 破産更生債権等 | 22,442 | 8,512 |
| 長期前払費用 | 15,903 | 11,565 |
| 繰延税金資産 | 91,401 | 145,676 |
| 保険積立金 | 1,082,673 | 1,176,238 |
| その他 | 104,983 | 59,992 |
| 貸倒引当金 | △22,442 | △8,512 |
| 投資その他の資産合計 | 3,138,179 | 3,313,135 |
| 固定資産合計 | 8,013,792 | 8,039,530 |
| 資産合計 | 17,389,037 | 17,957,265 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形 | 369,012 | 427,453 |
| 買掛金 | 1,756,022 | 1,742,861 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 568,722 | 306,220 |
| 未払金 | 907,812 | 790,240 |
| 未払消費税等 | 44,905 | 59,413 |
| 未払費用 | 57,488 | 59,440 |
| 未払法人税等 | 480,885 | 490,008 |
| 前受金 | 38,599 | 97,570 |
| 預り金 | 64,303 | 66,666 |
| 賞与引当金 | 418,422 | 439,564 |
| 製品保証引当金 | 38,300 | 41,118 |
| 設備関係支払手形 | 2,662 | — |
| その他 | 3,330 | 2,853 |
| 流動負債合計 | 4,750,466 | 4,523,411 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 517,942 | 213,728 |
| 退職給付引当金 | 156,631 | 254,387 |
| 役員退職慰労引当金 | 229,443 | 283,286 |
| その他 | 55,160 | 54,160 |
| 固定負債合計 | 959,177 | 805,562 |
| 負債合計 | 5,709,644 | 5,328,973 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成23年10月31日) | 当事業年度 (平成24年10月31日) |
|--------------|------------------------|------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,274,858 | 1,274,858 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 889,658 | 889,658 |
| 資本剰余金合計 | 889,658 | 889,658 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 145,000 | 145,000 |
| その他利益剰余金 | | |
| 特別償却準備金 | 8,961 | 12,192 |
| 別途積立金 | 5,910,000 | 6,210,000 |
| 繰越利益剰余金 | 3,450,978 | 4,095,374 |
| 利益剰余金合計 | 9,514,940 | 10,462,567 |
| 自己株式 | △2,752 | △2,752 |
| 株主資本合計 | 11,676,704 | 12,624,331 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,142 | 3,014 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1,546 | 946 |
| 評価・換算差額等合計 | 2,688 | 3,960 |
| 純資産合計 | 11,679,393 | 12,628,291 |
| 負債純資産合計 | 17,389,037 | 17,957,265 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日) | 当事業年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | | |
| 製品売上高 | 15,932,888 | 15,179,537 |
| 商品売上高 | 3,824,803 | 4,051,904 |
| 売上高合計 | 19,757,691 | 19,231,442 |
| 売上原価 | | |
| 製品売上原価 | | |
| 製品期首たな卸高 | 535,106 | 600,830 |
| 当期製品仕入高 | 691,283 | 505,426 |
| 当期製品製造原価 | 11,470,935 | 10,778,905 |
| 合計 | 12,697,325 | 11,885,162 |
| 製品他勘定振替高 | 8,948 | 5,999 |
| 製品期末たな卸高 | 600,830 | 568,087 |
| 製品売上原価 | 12,087,546 | 11,311,075 |
| 商品売上原価 | | |
| 商品期首たな卸高 | 198,229 | 247,088 |
| 当期商品仕入高 | 2,522,124 | 2,675,741 |
| 合計 | 2,720,353 | 2,922,830 |
| 商品他勘定振替高 | 1,715 | 1,849 |
| 商品期末たな卸高 | 247,088 | 309,158 |
| 商品売上原価 | 2,471,549 | 2,611,822 |
| 売上原価合計 | 14,559,095 | 13,922,897 |
| 売上総利益 | 5,198,595 | 5,308,544 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運賃及び荷造費 | 480,101 | 463,138 |
| 販売促進費 | 203,539 | 172,746 |
| 広告宣伝費 | 67,912 | 50,614 |
| 貸倒引当金繰入額 | 1,730 | △12,380 |
| 役員報酬 | 110,332 | 113,610 |
| 給料及び賞与 | 733,757 | 752,890 |
| 福利厚生費 | 250,667 | 174,680 |
| 賞与引当金繰入額 | 138,222 | 147,113 |
| 退職給付費用 | 63,064 | 75,181 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 22,650 | 65,022 |
| 旅費及び交通費 | 187,611 | 186,270 |
| 通信費 | 32,416 | 31,881 |
| 支払手数料 | 150,063 | 160,300 |
| 減価償却費 | 101,189 | 116,666 |
| 賃借料 | 146,219 | 148,917 |
| 研究開発費 | 378,576 | 397,417 |
| その他 | 372,841 | 360,190 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 3,440,896 | 3,404,261 |
| 営業利益 | 1,757,699 | 1,904,282 |

(単位: 千円)

| | 前事業年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日) | 当事業年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日) |
|---------------------|--|--|
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,179 | 2,192 |
| 受取配当金 | 59,180 | 69,724 |
| 受取保険金 | 125,238 | 104,643 |
| その他 | 37,577 | 48,668 |
| 営業外収益合計 | 224,176 | 225,228 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 20,578 | 11,689 |
| 為替差損 | 1,446 | 1,684 |
| 売上割引 | 32,078 | 31,651 |
| その他 | 13,515 | 15,866 |
| 営業外費用合計 | 67,619 | 60,890 |
| 経常利益 | 1,914,255 | 2,068,620 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 4,605 | — |
| 特別利益合計 | 4,605 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 10,975 | — |
| 投資有価証券売却損 | 1,003 | — |
| 投資有価証券評価損 | 3,495 | — |
| 減損損失 | — | 13,081 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 12,750 | — |
| 特別損失合計 | 28,223 | 13,081 |
| 税引前当期純利益 | 1,890,637 | 2,055,539 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 783,454 | 878,542 |
| 法人税等調整額 | △63,423 | △34,382 |
| 法人税等合計 | 720,031 | 844,160 |
| 当期純利益 | 1,170,605 | 1,211,378 |

製造原価明細書

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日) | | 当事業年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日) | |
|-----------|----------|--|------------|--|------------|
| | | 金額 (千円) | 構成比 (%) | 金額 (千円) | 構成比 (%) |
| I 材料費 | ※1 | 6,391,609 | 55.0 | 5,946,665 | 53.9 |
| II 労務費 | | 2,291,350 | 19.7 | 2,338,526 | 21.2 |
| III 経費 | | 2,947,907 | 25.3 | 2,751,515 | 24.9 |
| 当期総製造費用 | | 11,630,866 | 100.0 | 11,036,707 | 100.0 |
| 期首仕掛品たな卸高 | | 1,502,648 | | 1,410,160 | |
| 合計 | | 13,133,515 | | 12,446,868 | |
| 期末仕掛品たな卸高 | | 1,410,160 | | 1,445,069 | |
| 他勘定振替高 | ※2 | 252,418 | | 222,894 | |
| 当期製品製造原価 | | 11,470,935 | | 10,778,905 | |

(注) ※1 経費の主な内容は次のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日) | 当事業年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日) |
|------------|--|--|
| 外注加工費 (千円) | 1,197,553 | 1,139,689 |
| 減価償却費 (千円) | 416,706 | 418,063 |
| 電力費 (千円) | 351,578 | 384,039 |

※2 他勘定振替高の内容は次のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日) | 当事業年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日) |
|------------|--|--|
| 建設仮勘定 (千円) | 13,434 | 66,126 |
| 販売促進費 (千円) | 173,450 | 145,311 |
| その他 (千円) | 65,533 | 11,456 |
| 計 | 252,418 | 222,894 |

(原価計算の方法)

合成樹脂事業は実際総合原価計算を採用しております。

エンジニアリング事業は実際個別原価計算を採用しております。なお、エンジニアリング事業においては、期中で一部の科目に予定原価を適用し、期末に原価差異の調整を行うことにより、実際原価に修正しております。

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日) | 当事業年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日) |
|-----------------|--|--|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 当期首残高 | 1,274,858 | 1,274,858 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 1,274,858 | 1,274,858 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | | |
| 当期首残高 | 889,658 | 889,658 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 889,658 | 889,658 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | | |
| 当期首残高 | 145,000 | 145,000 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 145,000 | 145,000 |
| その他利益剰余金 | | |
| 特別償却準備金 | | |
| 当期首残高 | — | 8,961 |
| 当期変動額 | | |
| 特別償却準備金の積立 | 8,961 | 4,012 |
| 特別償却準備金の取崩 | — | △781 |
| 当期変動額合計 | 8,961 | 3,230 |
| 当期末残高 | 8,961 | 12,192 |
| 別途積立金 | | |
| 当期首残高 | 5,610,000 | 5,910,000 |
| 当期変動額 | | |
| 別途積立金の積立 | 300,000 | 300,000 |
| 当期変動額合計 | 300,000 | 300,000 |
| 当期末残高 | 5,910,000 | 6,210,000 |
| 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 2,787,148 | 3,450,978 |
| 当期変動額 | | |
| 特別償却準備金の積立 | △8,961 | △4,012 |
| 特別償却準備金の取崩 | — | 781 |
| 別途積立金の積立 | △300,000 | △300,000 |
| 剰余金の配当 | △197,814 | △263,751 |
| 当期純利益 | 1,170,605 | 1,211,378 |
| 当期変動額合計 | 663,830 | 644,396 |
| 当期末残高 | 3,450,978 | 4,095,374 |
| 自己株式 | | |
| 当期首残高 | △2,722 | △2,752 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | △29 | — |
| 当期変動額合計 | △29 | — |
| 当期末残高 | △2,752 | △2,752 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日) | 当事業年度 (自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日) |
|---------------------|--|--|
| 株主資本合計 | | |
| 当期首残高 | 10,703,942 | 11,676,704 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △197,814 | △263,751 |
| 当期純利益 | 1,170,605 | 1,211,378 |
| 自己株式の取得 | △29 | — |
| 当期変動額合計 | 972,762 | 947,627 |
| 当期末残高 | 11,676,704 | 12,624,331 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 当期首残高 | △2,598 | 1,142 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 3,741 | 1,871 |
| 当期変動額合計 | 3,741 | 1,871 |
| 当期末残高 | 1,142 | 3,014 |
| 繰延ヘッジ損益 | | |
| 当期首残高 | △3,812 | 1,546 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 5,359 | △600 |
| 当期変動額合計 | 5,359 | △600 |
| 当期末残高 | 1,546 | 946 |
| 評価・換算差額等合計 | | |
| 当期首残高 | △6,411 | 2,688 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 9,100 | 1,271 |
| 当期変動額合計 | 9,100 | 1,271 |
| 当期末残高 | 2,688 | 3,960 |
| 純資産合計 | | |
| 当期首残高 | 10,697,530 | 11,679,393 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △197,814 | △263,751 |
| 当期純利益 | 1,170,605 | 1,211,378 |
| 自己株式の取得 | △29 | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 9,100 | 1,271 |
| 当期変動額合計 | 981,862 | 948,898 |
| 当期末残高 | 11,679,393 | 12,628,291 |

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

6. その他

(1) 役員の変動（平成25年1月24日付予定）

① 代表取締役の変動

新任予定代表取締役

取締役 専務執行役員 森岡敏正

退任予定代表取締役

代表取締役 専務執行役員 間野 守

② その他の役員の変動

取締役 常務執行役員合成樹脂事業管掌兼開発部門長 田中稔一

（現 取締役 常務執行役員合成樹脂事業管掌補佐兼開発部門長）

(2) その他

該当事項はありません。

以上